

令和元年度 宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	表彰区分	氏名	年齢等	住所	功績等
1	3-1	あそう あきら 麻生 哲	77	大字四日市	<p>旧四日市町で獣医科医院を開業以来、本業の傍ら、畜産農家に対する生産性や所得向上に対する取組み、昭和40年から50年にわたり蔓延した養鶏のウイルス病の防疫体制構築への率先した協力等を通じ、本市の畜産振興・発展に大きく貢献した。平成23年には中央畜産会農場HACCP審査資格を取得、畜産農家の衛生管理に対する指導を行っている。</p> <p>現在は大分県獣医師会会長として県下の動物愛護支援事業や公衆衛生の向上に尽力している。また、他方で、昭和55年にロータリークラブに所属し現在も社会奉仕活動に従事。平成6年から平成25年まで大分地方裁判所民事調停委員、平成22年から平成25年まで中津調定協会会長等を歴任するなど、地域活動における功績も顕著である。</p> <p>一連の氏の活動は、市政や産業等の振興に大きく貢献しており、その功績は多大である。</p>
2	3-1	ふたがわ ちく 両川地区 まちづくり きょうぎかい 協議会	-	院内町 香下	<p>平成21年、一つの集落では解決しがたい身近な課題を住民の結びつきが強い小学校単位で取組む「地域コミュニティ組織」を設立。鳥居橋や小坂不動尊等文化財の周辺整備や案内板設置、記念事業の実施といった顕彰活動、香下ダム等への桜の植樹、高齢者向け健康づくり教室の普及活動など、継続して行っている。そして、昨年度、4部会制から3部会制、後継者育成チーム・移住者支援チームの設立など、新たな取組みを明記した10年間のまちづくり計画を策定した。</p> <p>現在の取組みをより発展させ今後10年の活動につなげようとする会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ、考え、行動し、より住みよい地域を作りあげようとする住民自治の推進に大きく貢献している。</p>
3	3-1	ふかみ ちく 深見地区 まちづくり きょうぎかい 協議会	-	安心院町 矢畑	<p>平成21年、一つの集落では解決しがたい身近な課題を住民の結びつきが強い小学校単位で取組む「地域コミュニティ組織」を設立。宇佐市地域交流ステーションの指定管理、そこを拠点として大分大学と連携し課題解決に取り組む「域学連携」の実施、仙の岩公園等維持管理の受託、ワンコイン居酒屋の開催など先進的な活動を行っている。平成29年には地方自治功労者として総務大臣表彰を授与された。そして、昨年度は、誰もが参加できる新たな組織体制等を明記した10年間のまちづくり計画を策定した。</p> <p>現在の取組みをより発展させ今後10年の活動につなげようとする会の姿勢は、地域住民同士が力を合わせ、考え、行動し、より住みよい地域を作りあげようとする住民自治の推進に大きく貢献している。</p>

令和元年度 宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	表彰 区分	氏 名	年齢等	住 所	功 績 等
4	3-2	ふなき 舟木 じゅんいち 淳一	89	大字城井	<p>平成17年の市町合併に伴い、平成19年10月1日に旧市町の各文化協会の同格統合を行い「宇佐市文化協会」を3支部として調整。初代会長に就任し、会員間の交流や発展に率先して取り組んだ。</p> <p>また、宇佐市と韓国・慶州市との美術交流「日韓文化交流」の立上げに尽力し、平成22年に慶州市で開催された日韓国際美術交流展では団長を務め、今日において続く交流の礎を築いた。</p> <p>氏は永きにわたり詩吟の探求と普及、詩吟会の発展や次世代の育成にも力を注ぎ、自身で吟詠劇の脚本を執筆。このうち、「あゝ双葉山」は、平成23年10月の双葉山生誕百年記念事業において披露された。そして、このことが市民に感動を与え地域振興に貢献したと認められ、瑞光流敬洲吟詩会長より感謝状を授与された。そのほかの作品も、市内の詩吟会により市民芸術祭や文化会館等で公演されている。</p> <p>氏の永年にわたる活動は、本市の文化芸術活動、美術を通じた国際交流の発展に大きく貢献している。</p>
5	3-2	しもじょう 下城 なおみ 直美	78	大字江須賀	<p>昭和39年に京都でつまみ絵(※)を習い始め、6年後、郷里の宇佐で本格的に教室を持ち、つまみ絵の流派の一つである若葉流の教授として指導を始めた。市内外で多くの会員の指導にあたり、平成4年に宇佐市で、平成8年に中津市で、会員とともに展覧会を開催。平成21年、現代手工芸作家協会主催・第27回ニュークリエイティブ展において出品作品が入選した。平成17年には、自宅近くに「工房 花簪(はなかんざし)」を設立。作品展示や教室の開催を通して、多くの人々につまみ絵の魅力を発信した。</p> <p>昭和53年から平成29年まで、宇佐市文化協会に所属。行事等へ積極的に参加し、会の発展を支えた。平成14年、宇佐八幡神輿フェスタを記念した大作「八幡大神、大仏を拝す」を宇佐市民芸術祭へ出品、来場者の目を楽しませた。平成16年度から平成22年度までの7年間は副会長を務め、会員を代表して日韓美術交流展の企画運営等に尽力した。</p> <p>氏の永年にわたる伝統工芸の普及、伝承に係る活動は本市における文化芸術活動の醸成に大きく貢献している。</p>

※つまみ絵… 染色した薄い絹の布をピンセットでつまんで短冊や色紙に貼り付け、草木や動物などを表現する技法。万葉の時代に宮中で生まれた、かんざしを作る飾り職人の芸を原点とする。